

ジーラスタ皮下注適正使用のお願い（改訂版）

薬価が 106,660 円/本と高価な薬剤です。（参考：フィルグラスチム BS 注 75 μ g シリンジ 5,071 円/本）

効能又は効果

がん化学療法による発熱性好中球減少症の**発症抑制**

用法及び用量

通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）として、3.6mg を化学療法 **1 サイクルあたり 1 回皮下投与する**。

1. 適切な投与日の選択

不適切な例

× 21 日サイクルの化学療法において、投与終了後 7~8 日目に投与

- 抗がん剤投与開始 14 日前から投与終了後 24 時間以内に投与した場合の安全性は確立していません。
- 抗がん剤投与終了後 72 時間を超えての投与は、G-CSF 製剤未投与と比較して発熱発症割合や抗生剤投与期間等に差は認められなかったという報告があります。



2. 適切な患者選択

不適切な例

- ✕ 発熱性好中球減少症（FN）発症のリスクがなく、FN 発症率が20%未満のレジメンを使用する患者への投与
- ✕ 発熱性好中球減少症の治療としての投与
- ✕ 1週間毎（Weekly）のレジメンに対する投与

- ジーラスタは、**FN 発症リスクが高い患者**（レジメンのリスクや患者個々のリスクに基づき評価されます）に対して、FN 発症抑制の目的で使用する薬剤です。
- ジーラスタの投与が推奨されるのは、3週毎または2週毎のレジメンとなっております（NCCN ガイドライン）。
1週間毎（Weekly）のレジメンに対するジーラスタの使用は適切ではありません。
- G-CSF 製剤使用の推奨グレードに関しては、「NCCN ガイドライン（Myeloid GrowthFactors version2）」または「G-CSF 適正使用ガイドライン2013年版 ver.4」をご確認下さい。

<参考資料>

ジーラスタ投与ガイドブック：<http://www.kksmile.com/hematonco/shizai/g-lasta/guidebook/pdf/all.pdf>